

エヌ・アイ・イー (Newspaper in Education = 教育に新聞を)

NIE 公開セミナー

「生きる力」を はぐくむNIE



日時	2012年11月9日(金) 午後3時~5時
場所	岩手日報社5階ホール(盛岡市内丸)
主催	岩手県NIE協議会
共催	岩手県新聞教育研究協議会

N I E公開セミナー ご参加の呼びかけ

新しい学習指導要領が、小学校で2011年度から、中学校で2012年度から始まり、そして高校は2013年度から完全実施されます。新学習指導要領は「言語活動の充実」を掲げているのが大きな特徴の一つで、新聞の活用も多く例示されています。

教育関係者と新聞関係者が連携して取り組んでいるN I E（エヌ・アイ・イー、Newspaper in Education＝教育に新聞を）につながる部分も多く、新聞記事を副読本として日々の授業で使い、記者やカメラマンをゲスト講師として教室に迎え、読解力や表現力をはぐくもうとする取り組みなども目立ってきました。

11月は日本新聞協会が定めるN I E月間です。これに合わせて岩手県N I E協議会は、11月9日（金）に公開セミナーを開きます。

日本の教育は、従来型の「何を学んだか」から、「これから何ができるか」の視点がいよいよ大切になってきているとされます。社会を維持、発展させていくには、自ら問題点を見つけ、解決する能力を身につけ、自分の意見を表現する力が必要です。

刻々と変わる社会や自然の出来事、文化や暮らしのヒントなどを伝える新聞は、言語力や思考力を高める材料の宝庫です。教育関係者をはじめP T Aの方々にとっても、公開セミナーはこれからの教育を考える一助になると考えております。

岩手県N I E協議会
会長 川村久子

2012 NIE 公開セミナー

講師 吉成 勝好 氏（日本新聞協会NIEコーディネーター）

演題 「生きる力」をはぐくむNIE

—今なぜNIEか、NIEは何をめざすか—



吉成勝好の略歴 1943年、神奈川県生まれ。早稲田大第一政治経済学部卒、玉川大教職課程修了。民間研究所・企業・学習塾等に勤務後、33歳で東京都公立小学校教諭に。練馬区立大泉第二小校長で定年退職。この間、東京都小学校新聞教育研究会長、東京都NIE推進協議会長、全国新聞教育研究協議会長などを歴任。社会科、新聞作り・新聞活用、通信活動などに力を注ぎ、27年間に発行した学級通信・教頭通信・校長通信は、総計3312号にのぼる。

退職後は、練馬区立総合教育センター教育相談室長、早稲田大教師教育研究所招聘研究員、全国新聞教育研究協議会顧問、理想教育財団評議員などを務め、2012年4月から日本新聞協会NIEコーディネーター。2007年に関東地区を中心とした新聞教育関係OBによるボランティア団体「新聞教育支援センター」を結成、新聞づくり・新聞活用・PTA広報・教師による通信づくりなどの支援にあたっている。

- ◆開催日 2012年11月9日（金）午後3～5時
- ◆入 場 無料
- ◆場 所 岩手日報社5階ホール
- ◆主 催 岩手県NIE協議会（事務局 岩手日報社内 019-653-4111 内線 2500）
- ◆共 催 岩手県新聞教育研究協議会
- ◆日 程
 - ・受付 14:30～（お早めに入場ください）
 - ・開会 15:00
 - ・講演、質疑 15:10～16:40
 - ・その他、事務連絡 16:40～17:00

*会場の岩手日報社に最寄りのバス停留所は、「県庁・市役所前」（徒歩3分）、「盛岡バスセンター前」（徒歩5分）などが便利です

*一般駐車場はありません。実践指定校の方で、車で来場する方は事前にご連絡ください。

◇NIE（エヌ・アイ・イー）とは

Newspaper in Education（教育に新聞を）の略で、学校など教育の場で、新聞を教材として活用することです。

1930年代にアメリカで始まり、日本では1985年、静岡で開かれた新聞大会で提唱されました。世界60カ国を超える国で実践されています。子どもたちの社会の出来事に対する関心度が高まり、活字離れを防ぐ効果も大きいとされています。

◇2012年度のNIE実践指定校

国内の新聞各社が参加する日本新聞協会（東京）は毎年、全国の小、中学校、高校を実践指定校にモデル指定して、NIEの普及に力を入れています。

2012年度は、前年度からの継続校、今年度からの新規校、全国奨励校を合わせて、全都道府県の554校、県内からは10校が認定されました。

授業などで活用する新聞の無料提供のほか、NIE研修会や関係行事に参加する際の助成、学校への記者派遣などの特典があります。

実践の様子は毎年、小冊子の報告書にまとめて教育関係者らに配布しています。

2012年度の県内実践指定校は、次の通りです。

【継続校】 遠野北小、岩手大附属小、種市中、高田高

【新規校】 湯口小、安庭小、一本木小、不来方高、盛岡大附属高

【奨励校】 黒沢尻東小

◇岩手県NIE協議会

岩手県内に拠点を置く新聞・通信社、教育団体などで構成しています。実践指定校の支援などを通じて、県内のNIE普及に努めています。

〈構成団体〉岩手県教育委員会、県小学校長会、県中学校長会、県高校長協会、県小学校教育研究会、県中学校教育研究会、県高等学校教育研究会、県新聞教育研究協議会と、朝日新聞社盛岡総局、毎日新聞社盛岡支局、読売新聞社盛岡支局、産経新聞社盛岡支局、日本経済新聞社盛岡支局、河北新報社盛岡総局、共同通信社盛岡支局、岩手日日新聞社、岩手日報社。

〈事務局〉岩手日報社内。電話 019-653-4111 内線 2500

【表紙の写真＝新聞の閲覧コーナーで、最新のニュースに触れる滝沢村・一本木小学校の児童】